



港区立高陵中学校 学校だより

平成29年4月号

平成29年4月10日

港区立高陵中学校

校長 平川 恒美

http://koryou-js.minato-ky.ed.jp/

新しい高陵中学校が船出しました

校長 平川 恒美

教職員と生徒の皆さんとで新しい高陵中学校を創り上げていく新年度が始まりました。新しい年度には、それぞれの皆さんの新鮮な決意があることでしょう。力を合わせて共に学校生活を送り、充実した1年間となるよう努力しましょう。四月は出会いの時、教職員に新しい力が加わり、生徒に転入生が加わります。2年生に2名、3年生に4名の計6名の転入生を迎えました。そして、新入生73名が新しい風を吹かせてくれるでしょう。詳細は下記に示しました。生徒215名の成長を大いに期待したい学期の初めです。

春休み明けに生徒たちが元気な顔を見せてくれるのは、学校関係者にとって何よりの喜びです。4/6の朝、2・3年生は登校した後に学級編成発表の学年だよりを渡され、歓声を上げていました。始業式を前に、久しぶりに会う友達と話が弾むのは無理もないことで、体育館集合時に若干落ち着かない様子がありましたが、すぐに引き締めるところは高陵中学校の生徒ならではです。担任発表時には、いろいろな先生方がフェイントをかけて学級前に並びかけた後に、本物の担任が発表されると静粛に受け止めるのも本校らしい様子でしょうか。失礼のないように、と気遣う対応ができるのです。

その後の入学式準備では、2・3年生は式場準備、校舎校庭の清掃、1年生の教室整備に奮闘し、心温かな様子がありました。例えば、教室の歓迎装飾だけでなく、1年生用教科書と港区寄贈の英和辞典を各机に一人ひとりセットしてありました。入学式当日の受付や昇降口の保護者・来賓の案内の接客ぶりは、なかなかできない水準ではなかったでしょうか。もちろん入学式での参加姿勢、合唱の声量等、新入生だけでなく保護者の皆様、本校生徒の特性が伝えられたのでは、と感じ、大いにほめてあげたくりました。

式辞で触れた概要・要点を、改めて以下に示します。話し言葉で伝わるのは別物かもしれませんが、見直してみてください。

新入生は伝統ある本校の一員となり、中学生としての第一歩を踏み出しました。義務教育の仕上げである中学校の3年間はあっという間でありながら、心と体の成長は目覚ましいものがある時代です。それでいて、心の発達段階は不安定で、将来への不安やいわゆる反抗する気持ちも大きくなります。しかし、それは成長の過程にある正常な心の葛藤なのです。それを乗り越えさせるために、保護者や教職員は自ら壁となって君たちに接します。損得では計れない、貴重な行為なのです。学校の使命は、教科の学習と人間関係という、強制を伴ういわば我慢を学ぶ場を設定することなのです。わざわざ面倒で辛いことをするところに学校の価値があるのです。これを肝に銘じてください。

しかし、そうした中に楽しみを見いだすことができるでしょう。個性ある「多様性」をもった公立中学校で学ぶすばらしい価値があるからです。在校生の才能と努力、教職員の熱意と指導技術、公立中学校でありながら都内でも有数の恵まれた施設、と言う面だけでなく、個人としても集団としても人の力を有している高陵中学校です。その本校で大切な心構え・意識変革は、「何をしてもらえるか」でなく、「何が出来るか」ということです。

つい先日、文部科学省から発表された次期学習指導要領の前文に、以下の内容が示されています。「これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人ひとりの生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」

とあります。今年度入学する皆さんに向けたメッセージと受け取ることができるのではないのでしょうか。本校の教育課程は、すでに新しいことを取り入れたり、日本文化を尊重したりする内容が満載です。学びの場としての高陵中で、この場にいる在校生たち、教職員、保護者・地域の皆様方と共に、これからの学校を創っていくではありませんか。

これから思春期を迎え、葛藤を乗り越えて行く中学生には、大人の協力が必要です。学校は子育ての同志です。先程の次期学習指導要領の前文には、こんな一節もあります。「これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」学校の責任の重さを十分自覚して、教育課程の実現に当たります。

さらには「生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から生徒や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。」と示されているのです。保護者・地域の皆様、新しい時代を生きていく生徒の成長のために、ご支援のほどよろしくお願いたします。

平成29年度 学校組織・在籍生徒数一覧

校長 平川 恒美 副校長 中島 邦彦

年	組	男子	女子	組計	学級担任	教科	分掌主任	副担任	教科	分掌主任
1	1	12	12	24	滝澤 康子	理科	川原 一範 吉澤 幸也	技術 音楽	1学年主任・教務主任	
	2	13	12	25	常盤 紗央	理科				
	3	12	12	24	堀越 将介	数学				
	計	37	36	73						
2	1	21	17	38	濱 訓子	数学	2学年主任	小山 匡史	社会	2学年主任・生活指導主任
	2	21	16	37	谷田 啓	英語		和田 逸仁	数学	
	計	42	33	75				村上 和彦	保健体育	
3	1	19	14	33	菅原 友子	英語	研究主任	中西 賢	国語	2学年主任・生活指導主任
	2	20	14	34	菅谷 邦雄	保健体育		野崎 真一	英語	
	計	39	28	67				渡邊利恵子	養護 保健主任	
全校		118	97	215						
栄養士・主事	栄養士 小泉 里実 事務主事 甕 健大 植草 博之 用務主事 小川 由樹 北村 里史 岡田 義之				スクールカウンセラー リーディングアドバイザースタッフ 学習支援員			横尾 澄香 中村 忍 清宮 まり 武田 優子 宮城 郁代 Thomas Bahun Ross Purcell		
講師	石川 久恵		国語		薄井 礼子		家庭		ネイティブティーチャー	
	塩原 正克		社会		高橋 けい子		英語科国際		ネイティブティーチャー	
	山岸 結		美術							

人事異動・教職員紹介

お世話になった教職員を送り出し、新しい顔ぶれが揃いました。

4/28に離任式を予定し、最後のお別れの場を設定しています。

転出教職員

職名	氏名	教科	転出校	在任期間等
副校長	青木 優治〔あおき ゆうじ〕	経営	世田谷区立松沢中学校・副校長	3年
主幹教諭	大島 一浩〔おおしま かずひろ〕	理科	港区立お台場学園港陽中学校・副校長	5年・ギター部
主任教諭	津田 宏〔つだ ひろし〕	数学	葛飾区立綾瀬中学校	6年・美術部
用務主事	栗田 敏春〔くりた としはる〕	用務	港区立御成門小学校	4年

転入教職員

職名	氏名	教科	前任校
副校長	中島 邦彦〔なかじま くにひこ〕	経営	港区立高松中学校
教諭	和田 逸仁〔わだ はやと〕	数学	新規採用(愛媛県高校講師)
用務主事	北村 里史〔きたむら さとし〕	用務	港区立芝小学校



退職・内部昇任等

任用	職名	氏名	教科
昇任	主幹教諭	川原 一範〔かわはら かずのり〕	技術
昇任	主幹教諭	中西 賢〔なかにし まさる〕	国語
新規採用	教諭	常盤 紗央〔ときわ さお〕	理科
新規採用	教諭	堀越 将介〔ほりこし まさゆき〕	数学
退職	再任用事務主事	植草 博之〔うえくさ ひろゆき〕	事務
変更	再任用短期用務主事	岡田 義之〔おかだ のりゆき〕	用務

新入生歓迎会

4/10(月)8:45-10:35

2月から準備をしてきたとはいえ、新学期そうそうの実施でありながら、見事に進行してました。1年生を歓迎するのと同時に、2、3年生の自覚を高める機会となったことでしょうか。1日の生活も、部活動の紹介も、実際に近い実演や映像でわかりやすい解説ではなかったでしょうか。情報の受け手を意識した構成が考えられていました。

年度当初の主な予定

4/10	月	新入生歓迎会・安全指導・給食始
4/11	火	身体測定
4/12	水	職員会議・心臓検診(1)
4/13	木	歯科検診(全)心臓検診(1)・専門委員会 移動教室実踏
4/14	金	耳鼻科検診(全)移動教室実踏・中央委員会 会・尿検査一次・生徒写真撮影
4/15	土	授業日・保護者会・PTA委員総会
4/17	月	生徒朝礼
4/18	火	全国学力学習状況調査(3)国・数
4/19	水	内科・プール前検診(3)
4/20	木	眼科検診(全)・高陵子どもサミット
4/21	金	PTA実行委員会・尿検査一次追加
4/24	月	学年朝礼・避難訓練(不審者対応)
4/25	火	内科・プール前検診(2)
4/26	水	研修会
4/28	金	離任式・区学力調査(全)
4/29	祝・土	昭和の日
5/1	月	全校朝礼・安全指導・中央委員会
5/2	火	専門委員会
5/6	土	開校記念日
5/8	月	生徒朝礼・専門委員会
5/13	土	土曜授業・生徒総会、学年保護者会、 PTA総会・歓迎会
5/15-20	月-土	学校公開期間
5/20	土	運動会(予備日5/23火)

入学式まで持ちこたえてくれた桜も、あっという間に盛りを過ぎようとしています。運動会まで、あっという間です。一学期中間考査は予定されていません。

生活指導の基本方針

全体目標
「自ら問題を解決し、たくましく生きる生徒の育成」

重点目標

*時間を守る。登下校、授業の開始に遅れない。
*日常生活の基本である「あいさつ」の徹底
*いじめをなくす。まわりも絶対に許さない雰囲気をつくる。
*公共物を大切に扱う。

4月の目標

気持ちを新たに規則正しい生活をしよう
週番活動は生活委員が週替わりで担当し、朝の挨拶運動などを行なっています。月ごとの目標を設定して、時に応じた生活の案内をするのは基本通りですが大切な習慣づくりです。

体幹を鍛えるための実践プログラム

本校の特徴の一つに日常の礼法があります。挨拶がしっかり行われますが、4月のこの時期に全校統一して指導するのは。所作の意味がわかると、形だけの実行ではなく、気持ちが伴ってきます。新入生歓迎会の後、全体集会で小笠原流の挨拶が体幹を鍛えることに結びつく指導が予定されています。動画を見せたり、学級で練習したりして実行させていきます。具体的には各授業、朝学活、終学活の挨拶は次のように行います。

1 起立

①学級委員は号令をかけない(チャイムで始める。先生の合図で始める。)
②自ら立つ。立つ時は、机や膝に手をかけない。片足を少し前にずらすと立ちやすい。
③椅子の前から、横にずれて、椅子の横に立つ。

2 礼

④全員が起立をしたら、学級委員会が「お願いします。」と声を出す。
⑤学級委員に続いて、全員が挨拶の声を出す。
⑥声を出した後、息を吸いながら、首は下げず心を下げ、腰骨を折るイメージで礼をする。
⑦下を向いたまま、一度動きを止め、息を吐く。
⑧息を吸いながら戻り、身体が上がりきったら笑顔で先生の顔を見る。
⑨先生は、全員ができたことを確認してから、礼をする。

3 着席

⑩机や膝に手をかけないで座る。
⑪手は5本の指をまとめて膝の上に置き、手を重ねない。
⑫首はまっすぐに、首が肩と垂直になるように意識する。
⑬足は、足の裏全体を床に付ける。

編集後記

編集へのご意見については、副校長 中島または校長 平川までお願いいたします。